

親だからできること

～克服した家族～

20171105 高濱正伸

(1) 哀しい事例・・・26歳男性 ひきこもり・家庭内暴力

- 朝晩逆転・・・長期ひきこもり化の必要条件
- ゲーム・・・大人のパチンコと同じ。楽しいだろうが人生の無駄。
- モテ経験の無さ・・・「私のこと好きなんだ」「あ、いいな！」の経験量。

◇お母さんに求められること

- ①早寝早起きのリズム。「休みのときくらい」は厳禁。
- ②ゲームは原則やらせない。脳への悪影響も心配。
- ③幼ければ幼いほどテレビも遠ざける。厳選して見せる。
- ④知・情・意・体、全ての面で「外遊び」が一番

(2) 問題を克服した成功事例

(1) 小1女子 三姉妹の真ん中、愛情飢餓、自信がない。

- 一人っ子作戦で大変身
- 夫婦の連携と話し合い

(2) 小2女子 運動コンプレックス

- 父子マラソン・・・運動苦手な子にはマラソンか水泳か武道が効果的

(3) 小1男子 指示行動がとれない。

- 走る・・・幼児の本質を知る「落ち着かない」「やかましい」「反省しない」

(4) 小3男子 わがまま勝手

- サマースクールの縦社会で変身
- 不良はどうにかなる。
- 人は役割を求めている。

(5) 小5男子 一人っ子、成績が伸びない。

- お母さんの「無条件の愛」「良いところを誉める」子育て
- どどん子どもだけの寝泊り空間に送り出す。

花まるグループの講演会
情報が見られます！



PTA 会員の皆様



平成29年11月14日

経堂小学校 PTA
PTA 通知第 29 号
経堂小学校 PTA 会長 小町 剛
文化厚生委員長 木城 智美

第 3 回家庭教育学級

「親だからできること 高濱正伸先生講演会」についてのご報告

秋晴れの心地よい季節となり、保護者の皆様におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、11月5日の第3回家庭教育学級では、花まる学習会代表 高濱正伸先生をお招きし「親だからできること」をテーマに講演していただきました。世田谷区教育委員会 社会教育指導員の土橋先生、校長先生、165名の保護者の方々にご出席いただきました。その模様につきまして報告させていただきます。

9歳頃までは愛としつけの時期

愛・・・まなざし、スキンシップ

子供が、ママ！パパ！と向かってきた時にしっかりと受け止める
言葉が通じないくらいキーンとなった時、舐めまわすくらいスキンシップはとても効果的

↓
“なんとかなる”“やってみよう”という前向きな感覚が持てるようになる。

しつけ・・・挨拶、早起きなどの基本的なこと

生きていく上で大事なことはしっかりと。
「土日は寝坊してもよい日」はNG。

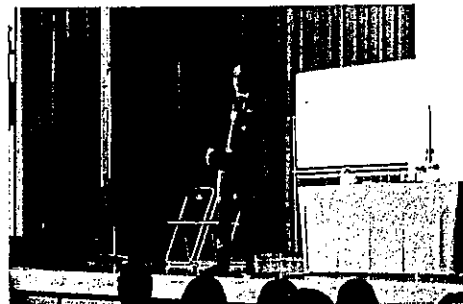
まわりの声も聞こえないくらい集中できて大好きなことを大切に。「集中すること」は教えることができない。没頭し、やり遂げること、自分で決める力は「食べられる大人」に繋がる。

11歳頃からは外の師匠（信じられる大人）を頼る

親から言われるとウザイ時期。小さいころの子育て論を持ち込むと大変なことになる。
部活の先生、習い事の先生などの外の師匠の力を借りる。

お母さんの笑顔が子供の成長のもと

子育ては一人ではやっていけない。
しかし、昔のようにお母さんを支える地域の受け皿が無い現代は、お母さんがニコニコするために何が必要か（ママ友、パート、親、アイドル etc.）を、お父さんが理解することがとても大切。



知・情・意・体、すべての面で「外遊び」が一番

野外体験を通して“要点”や“本質”などの「見えないものが見える力」に繋がる。子供同士の遊びや喧嘩の体験から、人が何を思っているのかを感じ取る力を育て、どんな人とも付き合える多様な人間力を育てる。

与えられたものをひたすらこなしていると、自分で人生を切り開き家庭を作るときにやっていけない。ゲームは、画面が時間を奪ってしまう。両親がどれだけ人間力をつくる「アナログな時間」を作れるかが重要。

問題を克服した成功事例

●小1女子、三姉妹の真ん中、愛情飢餓、自信がない

→夫婦で話し合い、両親と子供一人の状況を作り、一週間一人っ子作戦。3人でお出かけ、川の字で寝て、小さいころの思い出話などしたことで、反抗的だった少女の態度が変わり素直になった。

〈短時間でも、一人っ子作戦の時間を持つのは効果的〉

●小2女子、学業優秀だが足が遅いことがコンプレックスで周囲に意地悪

→毎朝、父親とマラソンを続け駅伝選手になるまでになり、意地悪も無くなった。

〈運動神経が良いことは自信の源になる〉

～出席者アンケートより抜粋～

- ◆一人っ子作戦など、いくつか試してみたいと思うヒントをたくさんいただきました。
- ◆講演に来る前まで発狂しそうなくらいイライラしていましたが（事実！）、より良い子育てをしていきたいと思います。
- ◆主人にも是非聞かせたかった。
- ◆人を育てる喜びをもっともっと感じて子供と接していきたいと思います。
- ◆ゲームばかりしている夫に聞かせたかったです。
- ◆大変楽しく、本当に実践的なお話をうかがえて、子育て、自分育て、夫育てに取り組み気持ちが出ました。
- ◆先生の仰っていることで、実践できていること、気づかなかったことなど参考になりました。
- ◆先生の歌、素晴らしかったです。

他にもたくさんの感想をいただきました。ご協力ありがとうございました。

-----今年度の家庭教育学級は終了しました。ご出席、ご協力ありがとうございました。-----

